

錦秋の美術展

色鮮やかに

深き秋を色鮮やかに彩る串間市美術展。
今年で16回を数えました。
書道・写真・絵画の全3部門で『特選』と『新人賞』
に輝いた作品を写真でご紹介します。

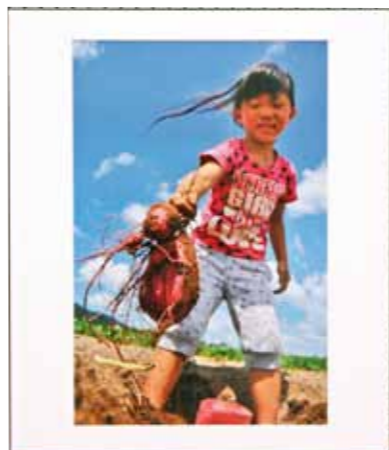
第16回
串間市美術展



●書道特選「杜甫詩」
永友美季さん



●絵画特選「からすうり」西村幸子さん



●写真特選「ベスト」黒木和也さん



●書道新人賞「漢詩」
神村明美さん



●写真新人賞「あん時の…」
城弘さん



●絵画新人賞「木漏れ日」森岡弘子さん

11月17日から23日までの7日間、串間市文化会館で『第16回串間市美術展』が開かれました。書道・写真・

絵画の3部門にそれぞれ、21点・39点・20点(計80点)の出品があり、会場を艶やかに彩りました。各部門における入選作品と審査員の講評をご紹介します。

一入選者・作品(※敬称略)

【書道の部】

- ◎特選Ⅱ永友美季「杜甫詩」
- ◎奨励賞Ⅱ川崎忠康「柳中庸詩」(2首)、河野ヨシ子「よしの山」、多田尚代「周立詩」
- ◎努力賞Ⅱ坂元優子「馬鐸詩」
- ◎新人賞Ⅱ神村明美「漢詩」

【写真の部】

- ◎特選Ⅱ黒木和也「ベスト」
- ◎奨励賞Ⅱ岩切寿博「冬月」、外山峯子「夜の棚田」、吉田大祐「自然に還る」
- ◎努力賞Ⅱ山下剛文「秋祭り」
- ◎新人賞Ⅱ城弘「あん時の…」

一審査員講評

●書道の部Ⅱ陣軍陽先生

総出品数21点のうち高校生16点、一般5点であった。日南圏よりの高校生が多く、地元の串間の出品者が少ないのは気がかりである。行書と楷書がほとんどで、かな作品は1点のみであった。篆・隸がもっと増えることを期待したい。当串間地区の書愛好者の奮起を願うばかりである。指導者が居られない訳ではないだろうが、公募展に出品して力量を磨くことも学書の上では大切なことである。

もし、意ある人が居れば手助けし

たいと思う。より多くの人がさまざまな展覧会に足を運び、眼習してほしい。学書は、まず古典から始まることを自覚したい。

特選の作品は、よく学習し堂々の力作。

●写真の部Ⅱ芥川仁先生

応募作品はさまざまな対象に取り組んでおられる姿勢が伝わり、好感が持てました。写真は、撮影者の感動を共有する表現なので、作者の独自の視点であることを優先して審査をしました。

撮影技術は大切ですが、第一条件ではありません。

特選の「ベスト」は、作者の熱意が画面から伝わってきて目を引きました。ピントが甘く少女の表情も物足りない面がありますが、迫力がその欠点をカバーしています。

奨励賞の「自然に還る」は視点の独自性、「夜の棚田」は夜に撮影するアイデア、「冬月」は品格の良さで選ばせてもらいました。努力賞の「秋祭り」は上手に撮れています。独自性が弱いと感じました。新人賞の「あん時の…」は子どもたちの表情が良かった。

独自の視点と技術、それに品格が

合わさったとき、優れた作品となります。独自性とは何かを意識し、今後一層の努力をされることを期待しています。

●絵画の部Ⅱ河辺一周先生

出品点数が20点ということであるが、せめて50点くらいあるといいと思います。福島高校もあることだし、美術部員または美術の授業の作品なども出品してほしいところです。今回も決められた6点を選出したが、ベテランぞろいで甲乙つけ難い作品であった。

その中でも、特選の作品はしつとりとした色使いで秋のやわらかな風情がよく表現されている。奨励賞作品の「シシリー島」は緑を基調色にした洒落た上品な作品である。手前の川の中に何かポイントらしきものがほしかった。奨励賞の「六月の花」の女性の像はその人から出てくるオーラみたいなものを感じる。絵の具の塗り込みがもっとほしい。

奨励賞の「安堵」は、優れた指導者に恵まれて健全な作品である。串間にとっては貴重なジャンルである。この版画をもっと多くの人が学んでほしいものです。新人賞の「木漏れ日」も手なれた表現で好感が持てました。